

嘉麻市社協だより

夏休みの思い出…

障がい児日中一時支援事業交流会で  
スイカ割りに挑戦!!

# えがお

発行日 2009.9.1 No. 43



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0943-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0943-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

## 男性介護者が抱える不安や悩みとは…



これまでの高齢者介護は、家族による介護に大きく依存し、女性が介護負担の多くを引き受けてきたというのが実態です。

しかし、男性（ご主人や息子さん）が介護者となる割合も増えてきていると言われており、本市においても、長年連れ添った奥さんをご主人が、また年老いた両親を息子さんが介護するという男性介護者もいらつしやることから、今回その状況や思いを取材させていただきました。

Aさん（63歳）は、59歳のときに退職し、第二の人生を楽しもうとしていた矢先、奥さんがアルツハイマー型認知症であることを医師から告げられました。その時は、「まさかこんなに早く自分が妻の世話をするようになるとは！」と、事実を受け入れるまでに時間がかかったそうです。認知症が徐々に進行していくにつれて、奥さんはできることが減っていき、Aさんの負担が増えていきました。

Aさんに、介護をするよう

になつて困ったことを尋ねると、奥さんが自分から離れず、四六時中一緒にいなければならなくなつたため、自分の時間が持てなくなつたこと、また今まで奥さんに任せきりであった食事作りや掃除などの家事、さらには、ご近所づきあいや生活に必要な諸手続きまでも自分一人で行なければならなくなつたことに戸惑いと負担を感じたそうです。

現在、Aさんは、「自分で全てを抱え込まない。周囲の人に頼る。」ということをもットーに、介護保険制度でのサポートを利用しながら、用事がある時は、奥さんのお世話を親戚に頼むなどして、在宅での介護を続けています。しかし、趣味のゴルフ仲間からの誘いや地域の行事に参加する機会が減ってきていることに寂しさを感じるとともに、これから先、いつまで介護できるのかという将来への不安も口にします。

次に取材したBさん（84歳）は、2年前、奥さんが自宅敷地内で転倒し、要介護状態となりました。いつかは、どち

らかの介護が必要となるだろうと覚悟をしていたので、奥さんが入院している時から、在宅での介護ができるよう準備を進めたそうです。退院後は、自分で考えた方法を試しながら、わからないことは何でもケアマネジャーに聞くようにしています。

Bさんにも介護をするようになって困つたことを尋ねると、「そんなに困つたなあと感じたことはなかったんですけど。でも私に知恵を与えてくれる人がいなかったら、到底今のような生活はできていなかったと思います。」と、これまで支えてくれている周囲の人々への感謝の言葉を口にします。

Bさんは75歳まで高校の教員を務めていたことから、近所に知人や教え子なども多く、気にかけてくれる人がいることを心強く思う一方で、最近自分自身の体力の衰えを感じることも多くなり、奥さんの状態が今より悪くなつた時に、介護を続けていくことができるのかという不安を感じると言います。

今回の取材を通じて、介護

をはじめた当初は、「なぜ、自分が介護をしなければならぬのか」という葛藤や「自分に介護ができるのか」という不安があること、また、気分転換を図る自分の時間も必要であること、さらには、介護に対する将来の不安があることなどは、男性、女性に関係なく介護者共通の思いであることがわかりました。

このほか、男性介護者の場合は、女性に比べると仕事中心の生活を送ってきた方も多く、日常生活に必要な家事やご近所づきあいなどの不安や負担が大きいこともわかりました。

このような事から、本会としては、毎月開催（第3木曜 日午後1時から）している在宅介護者の集いに、男性介護者の方々にも気軽に参加いただけるよう呼びかけながら、介護者同士のつながりを深めていくとともに、その中で家事を上手にこなすためのコツを学ぶ機会を設けたり、介護情報の提供に努めていければと思います。

# 公開講座を開催します!!

ご来場ください!!

## テーマ：発達・知的障がい者の卒後の 地域支援ネットワークをどうつくるか…

この度、飯塚市・嘉麻市・桂川町社会福祉協議会の主催による公開講座を開催することとなりました。

この公開講座は、発達障がいや知的障がいのある方が犯罪被害者や加害者として刑事裁判の当事者となることが少なくない要因の中には、障がいがあるということではなくて、学校を卒業した後の、地域の中での「孤立」という問題があるのではないかと、そうであるなら、医療や保健、福祉、学校などの関係機関が手を携えて、取り組むべきことがあるのではないかとのお思いで、それを明らかにし、具体化していくために開催するものです。

この問題について、みなさんとともに考えて行けたらと思いますので、多くの方々のご来場をお待ちしています。

## 演題「罪を犯した発達・知的障がい者の裁判をつうじて思うこと」

講師

佐藤 幹夫氏

(フリージャーナリスト)

### 【プロフィール】

1953年秋田県生まれ。千葉県にて養護学校(現特別支援学校)教員を21年間務める。教職のかたわら、1987年より批評誌『飢餓陣営』を単独で編集・発行し始め、文学、精神医学、発達心理学などの広汎な領域で、現代的課題を追求し続ける。2001年に退職し、文筆の世界に入る。取材テーマは、発達障害、特別支援教育、発達障害と司法、高齢者の医療・介護など。

著書、共編著に『ハンディキャップ論』、『自閉症裁判』、『「自閉症」の子どもたちと生きてきたこと』、『少年犯罪厳罰化 私はこう考える』ほか多数。



日時：平成21年11月6日(金)

＜開場＞午後5時30分 ＜開演＞午後6時30分 (終了は、午後8時30分の予定です)

会場：桂川町住民センター大ホール

入場チケット：300円(学生は無料)

書籍販売：佐藤氏が執筆された書籍も販売しています。

『自閉症裁判』、『裁かれた罪 裁けなかった「ところ」』ほか

※入場チケット、書籍については、9月1日から嘉麻市社協で販売しています。

その他：託児コーナー、手話通訳があります。

※託児 200円/1人

託児を利用される場合は、事前に桂川町社協(TEL 65-2271)にお申込ください。

【お問い合わせ先】

嘉麻市社会福祉協議会 TEL 42-0751 FAX 83-8005



## 夏休みの楽しい思い出に…



本会が実施している障がい児日中一時支援事業を利用する子どもたちに、夏休みの楽しい思い出にしてもらおうと、8月8日(土)午後5時から交流会を開催し、ご家族、ボランティアを含めて総勢47名が参加しました。

交流会では、ボランティアとスタッフで手作りしたお化け屋敷に子どもたちが挑戦したり、ボランティアサークル「ピノキオ」のみなさんによるブラックシアターを鑑賞するなど、楽しいひと時を過ごすことができました。

その後、食事中に雨に見舞われるというハプニングはありましたが、ご家族の一人は「子どもは、交流会をずっと楽しみにしていました。今日は、みんなに会えてうれしそうで、本当に来てよかったです。」と微笑みます。今日の交流会のことを子どもたちは夏休みの日記にどのように綴ったのでしょうか。

### ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました NO.1 山野第一サロン

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしていきます。初回は、山野第一サロンです。

7月29日(水)、山野第一公民館で開催された「山野第一サロン」にお邪魔しました。

開始時刻の11時になる前から、「久しぶりやね。元気やった?」という声と共に次々と皆さんが集まってきて、この日は65名の参加となりました。みんなが揃うと、健康体操で体を動かし、続いて大きな声で山野第一サロンのテーマソング『365歩のマーチの替え歌』を歌います。場が和んできたところで、この日のハイライトである日本舞踊『英 聖清峰』が上演され、艶やかな女形の演技に熱い拍手と声援が上がりました。その後、昼食のお弁当を食べて、最後はビンゴゲームを楽しみ、あっという間に時間が過ぎていました。

このサロンに長く参加している方からは、「毎月、サロンにおいでと声をかけてくれることがとてもうれしいです。みんなと会って話をして、楽しい時間を過ごすサロンが大好きです。」と交流を心待ちにしているその笑顔が印象的でした。

サロンは、毎月第4水曜日の午前11時～午後2時まで山野第一公民館で行われています。(昼食準備の都合上、事前の申込が必要です。)



シリーズ

### 介護体験記

「寄り添う難しさ」

永水 清子さん

No.19



10年ほど前、義母は財布や宝石、洋服に栄養食品などが見あたらないと、「盗まれた、警察を呼べ、呼ばないなら〇〇さん呼んで話を聞いてもらう」と大声で言っていました。そして、義父に「盗んだのはあんたやろ」と言うので、「置き場所を変えたのではないですか、義父さんは盗んではないかと思いますが」と言おうものなら、「あんた達はおとうさんに味方するとね」と、感情が高ぶっていききました。一緒に探して見つかったら、「あんた達が分かる所に置いたんやろ」と言っていました。皆んなが揃う夕食時に必ず盗られた話が出ていました。食事をしながら聞いていると無視されたかと思いきや、物を投げたり攻撃的な言葉を吐いたり泣き出したりしていました。今迄かわいがってもらっていたひ孫は、まだ幼く怖さもあり食卓を囲めなくなりました。こんな状態が何カ月も続き、義父も私も体調を崩し、夫は、家族の者がこれ以上母に寄り添う難しさを感じ、施設にお願いすることに決断しました。

今の義母は、表情も優しくなり、夫も私も笑顔で接することができるようになりましたが、大切な家族です。訪問するたびに、「これでよかったのか」と、葛藤は続いています。今、家族の方が入所されていたり、入所を希望されている方々も、多くの葛藤があたりだと思えます。それだけに安易に、「あげな所にいれて」と陰で言っただけに安易に、寄り添い方は、その家庭、その人で異なっています。

# かまボランティア 市民活動センター情報

2009年  
9月

## 災害支援ボランティアへの登録をお願いします!!

7月24日(金)の夕方から26日(日)にかけて、九州北部を襲った集中豪雨は、各地に多大な被害をもたらしました。本市においても、鴨生地区をはじめとして、各地区で床下・床上浸水などの被害が発生し、被災者の多くは、家財の搬出や畳を上げるなどの作業を自力ですることとなりました。

これが一人暮らしや高齢者世帯等であった場合は、その作業を自力で行うことは困難となるため、助け合いによる災害支援活動が必要となると思います。

そこで、本会としては、このような場合にボランティアを派遣し、支援できるよう、災害支援ボランティアの登録をお願いすることといたしました。

これからも台風や集中豪雨などの自然災害は、確実にやってきます。そのときに慌てないよう、また、被害が出た時に支援できるよう、個人でも、また企業単位でも結構ですので、ご登録いただければ幸いです。



### ボランティアグループ紹介 No.1

### 点訳サークルてんとう虫

このコーナーでは、かまボランティア・市民活動センターに登録しているグループに活動内容や活動する上での悩みなどをインタビューしていきます。トップバッターは「点訳サークルてんとう虫」です。代表者の松下正良さんにお話を伺いました。

#### ・会の活動内容について教えてください。

平成元年に発足した点訳サークルてんとう虫は、新聞の連載記事や豆知識などを掲載した60ページくらいのミニコミ情報誌を点字で作成し、視覚障がいのある方に配布したり、福岡盲学校に点訳した本を寄贈する活動をしています。

#### ・長年活動してこられて、現在はどんな悩みがありますか？

個人情報等の問題があって、点訳を必要としている人の情報が全くつかめないことが大きな悩みです。点訳してほしい方がいらっしゃれば、できる限り要望に応えたいと思っていますので、教えていただくと嬉しいです。

#### ・これからの目標を教えてください。

地域で支援を必要としている人に役に立つ情報を点訳していきたいと考えています。そのためにも、メンバーが増えて、グループを活性化したいですね。点訳というと難しいイメージがあるかもしれませんが、初めての方でも大丈夫ですので、気軽に見学に来ていただければと思います。

★活動日時  
毎月第1・3金曜日  
13時～15時  
★場所  
稲築社会福祉センター会議室  
★会員数 7名  
★代表者 松下正良さん



## ボランティア募集・イベント情報

### レクリエーションのサポート

特別養護老人ホーム たちばな苑(上山田)

たちばな苑では、毎日14時から16時までは、入所者の皆さんが楽しめるレクリエーションの時間となっています。この活動をサポートしていただけるボランティアを募集しています。

活動日 可能な日で構いません。

活動内容 ゲーム、お手玉、カラオケ等  
レクリエーションのサポート

### 心のバリアフリー “愛 いっぱいコンサート”

障がいがある子ども達のミュージックサークル Twinkle・Catsが、今回は、音楽劇「西遊記」トゥインクル・キャッツバージョンを講演致します。その他、ゲストを迎えての歌や演奏も行いますので、ぜひお越しください。

日時 10月23日(金) 開場18時 開演18時30分

会場 イヅカコスモスコモン 中ホール

問合せ先 イヅカコスモスコモン 電話 21-0505  
古賀 電話 53-3337

お問い合わせ先 かまボランティア・市民活動センター 電話 42-0751

# ご利用ください!

## 紙おむつ宅配事業

パンツタイプ、パッドなど用途に合わせた大人用紙おむつをお求めやすい価格で販売しています。ご注文いただければ、ご自宅まで配達いたします。



## 福祉機器貸出事業

福祉機器を必要とする市民の方に廉価で貸出しています。

- ◆電動ベッド1,200円/月額
  - ◆車椅子/無料
- ※貸出には、条件がありますので、お問い合わせください。



## 介護用品展示斡旋事業

介護用品取り扱い事業者と連携して、購入の仲介、介護情報の提供、相談にも対応しています。展示場所は稲築住民センター(岩崎1143番地3)です。



利用申し込み・問い合わせは、嘉麻市社会福祉協議会 電話 42-0751

## 第2回 碓井千歳会館フリーマーケットを開催します

碓井千歳会館において10月11日(日)午前10時から午後2時まで、フリーマーケットを開催します。

当日は野菜や花の苗、陶芸・手芸品、家庭での不用品を販売致します。

掘り出し物を見つけに、ぜひご来場下さい(雨天時は館内にて実施)

なお、車でお越しの方は、うすいの里及びうすい人権啓発センターあかつきの駐車場をご利用下さい。



## ボランティア募集

フリーマーケットの会場準備や後片付け、駐車場整理などを手伝っていただけるボランティアを募集します。

- ◆活動時間 午前9時から午後3時(可能な時間で結構です)
- ◆募集人数 5名程度
- ◆お問い合わせ・お申し込み先  
碓井千歳会館 62-3538



昨年の作品展示会の様子

◆場所  
山田ふれあいハウスホール  
(TEL 5211847)

◆展示期間及び時間  
9月19日(土)〜25日(金)  
午前9時〜午後7時

◆ご家族、お友達をお誘い合わせのうえ、ぜひご来場下さい。

山田ふれあいハウスにおいて、山田地区の小学生が夏休みに作った工作、書道、絵画などを展示します。

## 小学生の 作品展示会を 開催します

第2回



# 楽しかった夏休み

〜夏休みの思い出〜

稲築西学童保育所



蝉の声も一段と増した8月、子ども達は、虫捕り網を手に、あつちの木こつちの木と蝉を追いかけていました。

学童保育所の夏休みは、毎日が活気にあふれています。たっぷりある時間を有効に使って、日ごろできないあそびや製作を行いました。

子ども達が大好きな『泥んこあそび』も、この時期には欠くことのできないあそびのひとつです。背中に泥を投げあったり、顔につけてみたり、全身泥だらけになりながら、心と身体の開放感を感じました。また『シヤボン玉あそび』では、いろんな形や大きさの違うシヤボン玉をつくりました。そして、その合間にはプールあそびと、子ども達は、元気に毎日を楽しく過ごしました。

朝から夕方まで共に生活をした子ども達。この夏休みの間に友だちとの絆を深め、またいつもとは違うあそびを通じ、縦横のつながりを広げたことと思います。



## 嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

## 飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生298-1 ☎(0948)42-4241



- ご連絡ください。365日/24時間承ります。
- わかりやすい料金体系。ホール使用料は無料です。
- お斎(とき)は、寿会館の本格京風会席です。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館南斎場を含め、市内に8カ所あります。

- きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
- ひさつね会館……………☎52-0758
- いすや会館……………☎57-4444
- セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
- 善光会館 稲築会場……………☎83-5000
- おかむら葬祭 岡村会館……………☎42-4420

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

## 知っておきたい

### 葬儀マナー・基礎知識 No.28



今回ご回答頂くのは…

飛鳥会館 南斎場 松尾健一さん

**Q** 葬儀の日程が友引と重なりそうな場合、どうしたらよいですか？

**A** 昔は、友を引くから縁起が悪いとって避けられていましたが、最近では、あまりとらわれない宗派もあります。しかし、宗派によっては、避けるところもありますので、念のため、お寺の方か葬儀社にお尋ねになられたら良いと思います。

# 10月の総合相談

## 法律相談

と き: **10月1日(木)** 13:00~16:00

ところ: **山田ふれあいハウス**

と き: **10月15日(木)** 13:00~16:00

ところ: **稲築住民センター**

## 心配ごと相談

と き: **10月14日(水)** 13:00~15:00

ところ: **稲築住民センター**

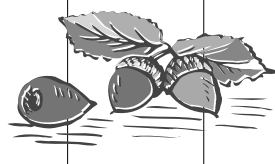
と き: **10月28日(水)** 13:00~15:00

ところ: **稲築住民センター**

法律相談は予約が必要ですので、お早めに右記までお申し込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

7月16日～8月15日受付分

【西川】

親族 山本友則様

【西岩崎】

親族 金丸嘉信様

故 金丸喜多子様

親族 武田好様

故 武田宇免子様

【平第二】

親族 柿原幸枝様

故 柿原進様

【鴨生第二】

親族 金丸アサカ様

故 金丸作平様

親族 岡田八千代様

故 岡田定様

親族 加藤ヨシ子様

故 加藤圭一様

【辻中籠】

親族 山下貴志男様

故 山下二枝様

【漆生本村】

親族 松熊美穂子様

故 松熊博昭様

【神幸】

親族 日高スミエ様

故 日高三男様

【蛭子】

親族 山本クリミ様

故 山本クリミ様

親族 水野清勝様

故 水野スガ子様

【古河】

親族 高鍋広幸様

故 高鍋百合子様

【長野】

親族 田才耕太様

故 田才一枝様

【嘉穂才田】

親族 杉長様

故 杉千代子様

親族 日高静一様

故 日高ミドリ様

【上西郷】

親族 有田正志様

故 有田精二様

【貞月】

親族 手嶋達生様

故 手嶋カヲル様

【千手】

親族 福本ヒロ子様

故 福本清幸様

【中益】

親族 金光すみ子様

故 金光利幸様

親族 松岡文明様

故 松岡牧子様

【初盆返し】

【鴨生北町】

親族 仲井勝美様

故 仲井喜美代様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同様

【囲碁盤・碁石】

漆生南部 匿名様

【碁盤・碁盤(折りたたみ式)・碁石】

中山田下 箕田ヤヨイ様

【切手】

立石 匿名様

【子育てリユース】

銭代坊 工藤恵様

平第二 手柴加代子様

辻中籠 森安恭子様

飯田 匿名様

蛭子 梅山智恵様

宮吉 匿名様

飯塚市 朱雀麻起様

【アルミ缶】

西岩崎 匿名様

下白井東 匿名様

ゆうひが丘 大塚直美様

百々谷 吉元悦子様

天神 島田睦男様

六四田 松田敏雄様

西馬見 匿名様

下牛隈 畠中明美様

下牛隈 畠中鈴香様

桂川町 中川久美子様

【リングプル】

鴨生北町 春田タエ子様

辻中籠 森安恭子様

山野第二 古賀絹江様

上白井上 匿名様

天神 島田睦男様

筑紫 原田ミツ子様

筑紫 原田マサ子様

西川 井上真奈様

尾浦第一 木下松江様

石ヶ崎 渡邊美千代様

石ヶ崎 國武美千代様

熊ヶ畑第一 笹尾五重様

山田手話の会 山田手話の会様

松田クリーニング店 松田クリーニング店様

ちくほう三線友の会 ちくほう三線友の会様

あさひ美容室 あさひ美容室様

嘉麻市役所保護課 グランドベルズ飯塚様

【古切手】

鴨生第一 岡田八千代様

熊本 藤川敏子様

木城 米原幸様

中益 浦田美香様

教育ナビゲーション(株) 教育ナビゲーション(株)様

松田クリーニング店 松田クリーニング店様

碓井庁舎市民課市民係 碓井庁舎市民課市民係様

下山田郵便局 下山田郵便局様

(株)中並組 (株)中並組様

平和舗道(株) 平和舗道(株)様

【使用済テレカ】 鴨生北町 梅木歳子様

あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご

加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

7月16日～8月15日受付分

【個人会員】

〈新山野〉三組(二口)、六組(二口)、七組(二口)、八組(二口)、九組(二口)、十一組(二口)、十二組(二口)、十七組(二口)、二十三組(二口)、村内(二口)

〈漆生中央〉田中英樹

〈鴨生町〉棚田幸子

〈鴨生第二〉井上縁

〈鴨生北町〉坂口十七子、梅永昭江、梅木信吉、中須サカエ

〈山野第一〉辻田親之、石川武士、辻田鈴子、森山博、江藤ヤヲ子、立藤カズ子、森山清志、谷口満、辻田篤志、永富健二、坂口ユリ子、赤坂秀一、赤坂タケ子、山下成子、水間寛、荒木敏子、中並俱之、岩崎マチ子、岩田富美子、山内龍二、辻田信子、畠中次郎、野見山恒夫、松本茂利人、藤井治留、緒方英子、柴田幾雄、



荻野久太、熊谷琢磨、熊谷萌、朝倉吉明、熊谷米博、安藤辰雄、福光美恵子、山本幸俊、赤坂友邦、里村百合子、松田博文、松浦繁幸、辻田正治、柴田英生、鳥井実、辻田元徳、田村強、太田信夫、中村俊治、吉水富男、桑野健次、森原正博、原英孝、伊佐悦子、藤原哲資、松岡ミチ子、田原ミヨ、平井義久、平山伊保枝、白川秀、澁谷茂、田中誓志貴、鈴木哲男、松岡伝、大塚嘉生、中並寿、水間卯八、中並子ズ子、高松富夫、石井直彦、平野嘉代、西田夕久、西田始、山本昭夫、福沢秀久、北富敏三、福沢トモエ、福沢清隆、福光一男、永富信茂、福光ワカ、永吉敦子、辻田広光、伊藤哲則、唐田欣二、中尾美一、増田淳子、高木和夫、永富靖人、水間久二、石川洋一、永富康嗣、河村紀生、田坂勝信、梅井史枝、江口信一、満島憲幸、松岡政明、平嶋國生、平嶋喜代美、角谷正美、飯田金繁、半田亮司、金沢平一、秋山益男、古江雅彦、山本清人、石見秀将、戸倉佐和子、松岡憲治、早川喜美代、荒木哲也、瓜生佳津成、西田薙彦、朝倉タツエ、坂口イソ子、有田公司、竹井テルコ、早川志真子、野波貴、原田康幸、西田宏、梶田玉枝、早川秀一、伊藤カヲリ、栗林隆雄、西田毅、瓜生義晴、熊谷國夫、峰啓子、中原千歳、森高弥作、長嶋正雄、石崎慶太、西田トミ子、馬淵順二、山本操、西田笙子、石川國子、新原正信、藤村節子、石川紀子、甲斐満、太田札五郎、石川芳太郎、藤

春英明、藤春眞祐、藤春信子、藤春諒一、和田正行、藤春正人、藤春和泉、藤春重子、品川良吉、山内日出男、大井慎二、楠田元憲、市村祐子、山本多喜夫、牧昭男、永水悟、赤間陽一、國米スエ子、藤野シズカ、今村利秋、大井盛政、田原学、西田幸子、鶴丸健太郎、鬼塚勝成、東英之、東精一、菱口妙子、村尾正人、足立文昭、尾造伸二、木下竹子、熊井三徳、櫛野栄次、迎田進、松宮安博、中山惇、水脇信夫、西堀サチ子、山本修、永水憲一、末永剛、林修次、赤坂好紀、河野治記、吉田晃、山田和隆、宮崎省吾、田中澄夫、辻田初代、有長栄治、瀬尾とも子、松岡正章、梶原久美子、橋田身根男、山下勝人、森山政子、亀井基美、鬼塚時男、豊田靖彦、河内久雄、永尾文男、竹上和子、宮地澤子、桑原光男、嘉陽田純一、林泰亮、末田義信、平畑和也、越智数美、星村和人、星村美和、山下三男、古賀達也、伊藤泰行、松岡博昭、古川辰雄、福澤芳茂、野見山篤、安藤睦津雄、太田孝、永松久、片岡吾、徳永正憲、平山一、中西大典、麻生昌彦、金丸賢二、洪田作太郎、田中敏雄、佐田スエ子、永富三千子、平野安右衛門、吉田徹、片峰伸二、松岡央、半田信博、永田紀美代、堀川康浩、吉田裕二、林雅幸、坂田恵太、境茂俊、山本恵一、樋口誠、金堀隆、野見山勇雄、坂田直樹、木下幸治、青野廣太、富田幸子、坂口栄喜、平嶋綾子

下信子、中島裕二、山下春美、山下武利、大和義一、西田四郎、永水巳代志、永水泰典、田口正志、西田剛、森山肇、大山松雄、松本澄子、西田明、白土良一、坂本浩之、佐藤秀男、浅田修一、松本政喜、平井幸子、永水秀樹、加藤正子、松隈慶造、藤内俊夫、佐原ノリ、佐伯純子、加来公生、吉田文子、平井むつ子、西田健、永水政子、野村京子、越智初、佐竹吉實、森山祥弘、深見隆伸、馬田忠義、松本明美、高田久志、野田エミ子、西田仁、西田正実、大山忠男、松下正良、梶原輝雄、永水計親、西田久利、西田武次、西田家理、永水民生、永水美法、永水雅史、永水幸子、永水正博、和田祐資、上田洋、山田和彦、西田マサヨ、篠森鹿夫、荒巻嘉子、西田正子、永水成一、野見山輝昭、西田俊夫、藤崎正昭、西田穂次、小峠フサエ、林トシ子、横山秀雄、清家幸夫、大久保久子、河上スエ子、宇根岡マサミ、林繁樹、田中道子

〈原神〉城丸正治、城丸貴久枝、中野達男、米澤成美、江藤富美子、井上誠、井上智子、松岡梅香、野見山喜代子、鳥居香代子、松岡一彦、松岡由美、島田睦男、島田久子、木下俊明、泉剛、赤木松夫  
〈中央〉島津郁、井本寿子、坂本美雪、伊藤和美、江頭和昭、大里ツルミ、大田輝子、斎藤キヨ子、中山マサミ、林田邦彦、三浦角男、濱加代子、森山洋子、田中澧子、藤野文枝、本恒内文子

〈原町〉高橋典徳、寺田巧、寺田和子、国本美紀子、北島弘秋、高倉純子  
〈西川〉柴田麻美  
〈百々谷〉畑迫豊江、中川ミネ子、吉元悦子、西芳子、西村信也、西村久美子、古賀マサ子、児玉孝幸、宮本文雄、宮本千代子、日野和義、田中清美、中園千歳、武本ハルエ、長田勝、長田京子、楠森征二、大塚繪美子、村上ユキ子、大塚シナヨ、毛利栄子、松田伸子、篠原喜代子、西村スミ子、龍忠雄、龍恒子、龍美恵子、児玉ふみ子  
〈昭和〉竹森笑美子、下田伸三郎、下田勢四郎、北村正弘、矢野ひとみ、大塚軍治、大久保猛彦、明石ミサヲ、隈元重子  
〈本町〉和田俊彦  
〈下宮〉椿甫  
〈神幸〉松岡正子、永田和秀、松岡常雄、小屋野治、此経久仁男、大里徹治、市原隆志、会田むつみ、松岡美保子、甲斐キワノ  
〈尾浦第一〉柿原七江、中村キクコ、松永フミ子、中村フサエ、石内選、有川善俊、桑原勝助、吉田保  
〈尾浦第二〉前田澄子、下川明世、三浦和子、大重昇  
〈三菱第二〉緒方誠  
〈木城〉松岡光昭、藤井逸志、岡本国夫、山本賀世子、藤嶋泰仁、日高文雄、林田正敏、長与秀夫、小島宗浩、中川フサエ、岸川太美峰、大里景子、中野礼子  
〈熊ヶ畑第二〉石橋広蔵、石橋裕子、上野富美子、大里九州男、大田ノ

ブエ、平嶋誠一、広瀬政治、山田芳博、広瀬美雪  
〈ゆうひが丘〉大森時清、大森キクヨ  
〈中山田上〉吉野弘、吉永政雄、矢野陽子、皆川浩樹、松岡和枝、平塚弘一、中村嘉男、田中トヨコ、立山未春、高木康雄、高木幸重、坂口繁、高島正人、窪田繁、河津義徳、河津マサミ、梶原キクエ、阿志賀京子、浅田スギ子、坂本岩雄、岩下正則  
〈石ヶ崎〉皆川アキエ、高島良子  
〈山下〉山田耕平、田中ミサト、山崎昭三、山崎澄子、杉田博、倉田武、大村妙子、山辺敏郎、山辺富美子、梶原よ志子  
〈古河〉渡辺雄一、吉原カヲル、国房スマ子、西志津江、稗田玉子、伊藤由美子、藤田則子、青木政国、梶原鈴男、沢田大蔵、塚原シゲ子、馬場三郎、生田敏光、日高ミドリ  
〈立石〉松隈信一、和田守之、山本シズエ  
〈長野〉長野シマエ  
〈新原〉川波長兵衛  
〈牛隈北区〉伊藤シカエ  
〈小野谷〉江藤吉治(三〇口)  
〈五日町〉中島暁子(二〇口)  
【団体会員】  
〈漆生本村〉漆生本村行政区(十三口)  
〈山野第一〉十二組、二十六組

## ふるさとのみなさんへ

私が故郷を離れたのは平成4年、18歳のとき。高校を卒業し、大学進学のため実家の鴨生を離れ、関西にて生活するようになりました。平成8年に大学卒業後そのまま吹田市役所に就職し現在に至ります。現在は同市資産税課にて固定資産税の賦課業務を担当しています。



兵庫県神戸市在住  
山下 正路さん(35歳)  
鴨生出身

家族は妻と、2歳になる息子の紬也と3人で、神戸市に住んでいます。住まいは交通の便も良く、休日には車や電車での買い物などに事欠きません。

神戸は美味しいケーキやパンの店が多い素敵な街なのですが、新型インフルエンザにより大きな影響を受けたのは未だ記憶に新しく、「元氣アップ！神戸キャンペーン」と題して夏の期間に神戸ポートタワーをはじめ、市内の主要観光施設を無料開放したりなど現在も誘客に躍起のようです。

故郷には父母や今年99歳になった祖父、妹夫婦も元気にしており、お盆と年末年始に帰省しては嘉麻市の変化についてあれこれ教えてもらいます。嘉麻市に帰った際にはいつも豚骨ラーメンでお腹を一杯に満たしてすっかり充電させてから神戸に戻るようになっています。田園風景も今も変わらず私を癒してくれます。

おいしいラーメン屋があればぜひ教えてもらいたいと思っています。今日この頃です。

離れてみて特に思うのは故郷の人はおおらかでありながら、実は心は熱い人ばかりだということ。

思い出されるのはのどかな景色や楽しかった子供の頃の日々。小学生の頃、漆生の公民館でスズメバチの巣を見つけ、近所の子らで泥で作った球を投げてみて、いたずらした結果、危険な目に遭ったこと(真似しないでください)。それから中学・高校と当時吹奏楽部に所属していて顧問の竹森先生のもと勉強そつちのけで朝から晩までまめに練習に打ち込んだ日々のことです。

## いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために

### ～平成21年度の「社協会員」を募集しています～

「住み慣れた嘉麻市で、いつまでも暮らし続けたい」という願いは、市民共通の思いではないでしょうか。今日、介護保険をはじめとする、様々な公的な福祉サービスは充実してきていますが、制度だけでは対応することができない福祉課題も多数存在しているのが実態です。本会は、市民の方々の参加と協力に基づいて、そのような福祉課題を解決する事業や活動を実施していくため、年間を通して「社協会員」の募集を行っています。

平成21年度にみなさんから寄せいただいた会費は、地域支えあい事業や子育てリソースセンター事業、地域福祉部の設置・支援事業などの活動財源として、有効に活用させていただきますので、趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご加入をお願いいたします。



#### ■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額      法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

## シリーズ 炭鋳の記憶 No.30



木下数敏さん  
76歳  
(銭代坊在住)

「若かったあの頃は、きついかかそんなことは全く感じんやったね。とにかく楽しんで仕方なかった。」  
木下数敏さんは、三井山野鋳業所に勤めていた時に所属していた青年団での活動を懐かしそうに振り返ります。  
木下さんが鴨生社宅の青年団に加入したのは、入社して間もない昭和31年のことです。その中で春には炭鋳の安全を祈願する祭りや運動会、夏には盆踊り、冬には飯塚の商店街から山野までの区間を走る駅伝大会や、社宅内の希望者宅を白と杵を持って餅をついてまわったりと様々な行事に携わっていました。  
また、各社宅の青年団ごとにチームを作り、野球もしていました。うで、「ヤマから上つてきてから、暗くなるまで練習しよったよ。若かったからできたことも知れんけど、楽しかったね。」と目を細めます。

春の運動会は、枝坂、鴨生、銭代坊、平、緑ヶ丘…と、三井山野炭鋳の社宅をチーム単位として行われていたそうです。「綱引きや玉入れ、ムカデ競争や借り物競争など、ヤマで働く男だけじゃなくて、家族や地域の人たちみんなが参加して、盛り上がりしていたね。特に最後にある仮装行列は、どこもアイデアが一杯で、本当に面白かったよ。」と、当時の様子を思い返します。

「確かに準備とか、参加者の呼びかけ、取りまとめとか大変やったけど、苦に感じたことはなかったね。」と笑顔で話す木下さんは、自らも楽しみながら社宅内のまとめ役として、同鋳閉山まで青年団の活動を続けました。

「あの頃、一緒に活動していた仲間が、20人くらいいたと思うけど、坑内での事故の犠牲になったり、閉山後他所に移っていったりと、今ではもうつながりは全くなくなつたね。」と寂しそうな表情を見せる木下さんにとって、当時の仲間たちとの写真が大切な宝になっています。

